

# 新しい産直—「CSA」をはじめます

地域支援型農業

Naruko Yoikko Bin

# 鳴子よいっこ便

助け合うしくみ  
=「よいっこ」

かつて村では、田植えや茅葺き屋根の葺き替えなど、農家一軒ではこなし切れない仕事を近所同士が助け合っていました。互いが互いのために力を出し合う暮らし。農村と都市が結び合う暮らし方を「よいっこ便」という名前に込めました。

## 契約購入メンバー募集のお知らせ

## 農家の野菜をおすすめ分け



### 【鳴子よいっこ便】はこんな内容です

- **料金** / 月 4 回 × 5 ヶ月  
(2019年7月、8月、9月、10月、11月)  
1ヶ月分・2,000円(税込) 月ごとに前払いとなります。  
※5週目はお休みです。
- **受け渡し場所** /  
「おみやげの店なるみ」脇のテント  
毎週 木曜日午前10時~午後12時  
(JR 鳴子御殿湯駅前・大崎市鳴子温泉鷺ノ巣 87-2)  
会場にいらした契約購入メンバーのみなさんに、数種類の野菜等をお渡します。ご都合のつかない場合は、お友だちや知人の方でもお受けします。みなさんでお茶飲みしながらおしゃべりしましょう!
- **野菜や加工品をお届け** /  
採りたての新鮮な野菜を数種類、また加工品などをお持ちします。畑の野菜の育ちは天候次第。何が届くかはお楽しみに。
- **ご意見、ご感想をお聞かせください** /  
この5ヶ月間はお試し期間です。ご感想をお聞きしながら、よりよいものにしていきます。

### ●新鮮な野菜を地域の人に

14年前から鳴子で食べ手と直接つながってお米「ゆきむすび」の予約生産を続けてきた「鳴子の米プロジェクト」では、この夏から活動を野菜にも広げ、直接地域の方に野菜を手渡す「鳴子よいっこ便」を始めることにいたしました。鬼首や川渡など

の農家のご協力で、自家用に栽培している新鮮な野菜をお分けします。週に一度の野菜便で地域の人同士、交流しませんか? 11月までの5ヶ月間のお試し期間の契約購入メンバーを募集しています。

### ●「鳴子の米プロジェクト」を知っていますか?

「鳴子の米プロジェクト」では、小さな農家がやりがいを持って農業を続けられるよう、農家が持続できる価格で新品種「ゆきむすび」を予約販売してきました。これは、産直よりさらに進んで農家(作り手)と消費者(食べ手)が信頼を寄せ合い、農産物を予約し

てもらって生産販売する農業の新しいかたちで「地域支援型農業」(Community Supported Agriculture)ともよばれています。作り手と食べ手のいい関係を築きながら、安定的な生産と安心できる食卓を実現していくことが目標です。

### ▶「野菜」受け渡しまでの流れ

#### 申し込み書を送る

下記の申し込み用紙をファクスでお送りください。お電話やメールでもお受けします。



#### 月初めにお支払いを

毎月、初回の受け渡しの時に、1ヶ月分の代金をお支払いください。



#### 受け渡し場所で野菜を受け取る

事務局がお示しする受け渡し場所にお出かけください。



### ▼お申込書 FAX 0229-29-9437 または下記内容を Emailでお送りください。

ご氏名 (ふりがな)	〒 ご住所	電話番号 ( ) -
	携帯電話 - -	メールアドレス

### ▶お問い合わせ・お申し込み

**プロジェクト鳴子 CSA**

事務局: NPO 法人 鳴子の米プロジェクト内  
〒989-6832 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼 77-84

TEL / 0229-29-9436 FAX / 0229-29-9437  
E-mail / komepro\_csa@yahoo.co.jp

\*本事業はトヨタ財団2017年国内助成プログラム<そだてる>の助成金により実施しています。